

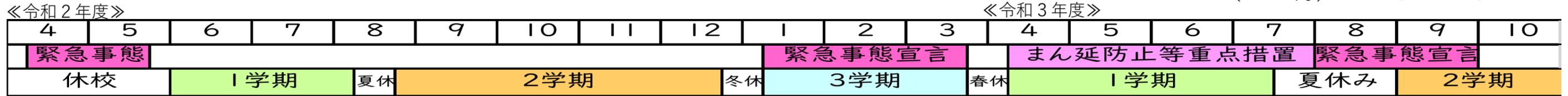
『コロナ禍の子どもの学び支援について』

MAX 243人
(R3. 8月)

300人 【児童生徒陽性者数（小中高）】
200人
100人

27人
(R3. 1月)

26人 (R3. 7月) 38人 (R3. 9月)



基本的な感染防止対策

- 【現状】以下の事項は常時実施
- ・本人、家族の毎日の健康観察の徹底
 - ・マスクの着用 ・手洗いの徹底
 - ・季節を問わず換気
 - ・3密避け(密集・密接・密閉)
- 【課題】子どもへの感染源の多くは家庭
- 【今後の対応】
- ・基本的な感染防止対策は継続
 - ・家庭への啓発、協力依頼の強化



学習

- 【現状】
- ・様々な制限の中で、可能な活動を工夫して実施
 - ・多様な学び方の実施
例) ・対面での授業、遠隔での授業
・予習型学習、復習型学習
 - ・学習にはアナログな活動が不可欠であり、タブレットは道具の一つとして、適切な場面で活用していく。
 - ・ほぼ全児童生徒が、1人1台タブレットを家庭に持ち帰り、オンライン上での健康観察や教師・友達とのやりとりを実施

- ・wi-fi環境のない家庭にはルーター貸与
- ・松戸市で導入している「eライブラリ(AI型ドリル)」の活用により、個に応じた学習を実施

- 【課題】
- ・コロナウイルス感染拡大による休校や授業時数減を経て、市内児童生徒の学力・学習状況に変化が見られた。現在の学力状況を把握し、詳細の分析をさらに進めると共に、新しい時代の学力を創るための方策を探り実践していく必要がある。
 - ・タブレットPCを使うことのメリット・デメリットを調査・検証していく。(東北大学と検討)

- 【今後の対応】
- ・良い取組を随時市内小中学校に発信
 - ・検証結果から改善策を導き、実践に反映

子どもたちの学びを止めない取組

～withコロナへとつなげる工夫～

学校行事・部活動

- 【各行事の現状】
- ・コロナ禍によって、中止や方法変更を余儀なくされた経験を経て、各行事の目的や意義をより重視した取組へと変わりつつある。
- 《宿泊行事の現状》

10/22現在の状況	修学旅行	林間学園
小学校（全45校）	実施20校、予定25校	実施24校、予定19校
中学校（全20校）	実施6校、予定4校	実施1校、予定8校

- 【課題】
- ・新たな視点での行事・部活動
- 【今後の対応】
- ・学校だけが担うのではなく、社会教育団体や地域との連携により、子どもたちの活動の場や可能性を広げていく。



給食

- 【現状】
- ・次亜塩素酸ナトリウムを含んだ布巾で、すべての机や配膳台を消毒

- ・配食をする係児童は、白衣・帽子・マスク、職員もエプロン・バンダナ・マスクを着用して配膳 ※必要に応じて手袋も着用
- ・会食時は向かい合わせにならないよう、前を向き、黙食を徹底・職員(担任)は、机上についたてをする等の感染防止対策を実施
- ・学校から提供される給食を希望しない児童生徒への配慮を実施

- 【課題】
- ・今後の黙食とマスクをして楽しめる給食の時間の在り方
- 【今後の対応】
- ・感染状況に応じた方法で実施

